

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

2026年3月23日

提出区分	実績	整理番号	12	課題区分	B
横断的な課題	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				
地域重点政策	林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保				
実施機関	木曽青峰高等学校				
事業名	木曽青峰高等学校森林環境科・インテリア科全国募集推進事業		担当課	所属	木曽青峰高等学校
				電話	0264-22-2119(直通)
				E-mail	seiho-hs@pref.nagano.lg.jp
概要	目的 (目指す姿)	<p>県高校教育課・高校再編推進室では、白馬高校や飯山高校等で生徒の全国募集を行っている。全国募集の目的は、異なるバックグラウンドや価値観を持つ生徒が同じ学び舎で出会い、交流を深め、多様な他者を尊重し協働しながら持続可能な社会を創っていく力を養うとともに、地域の人と触れ合い、地域をフィールドに共に学ぶことで、長野県の魅力を感じ、長野県に住み、地域に貢献したいと思う者を増やすことにある。</p> <p>木曽青峰高等学校森林環境科・インテリア科では、令和8年度入学生より全国から広く生徒を受け入れる予定である。全国募集をするにあたり、本校の「特色ある教育」を全国の中学生や保護者へ向けて広報し目的意識を持った生徒を全国から広く募集する予定である。</p> <p>また本校は、林業大学校や上松技術専門学校等と共に木曽谷・伊那谷フォレストバレーの関係機関となっており、他の機関と連携しながら森林や林業に関する教育の充実化を図っている。高校卒業後も連携している学校等に進学することにより、継続的に学びを深めることができる。</p> <p>全国から本校に入学した生徒には、より専門性の高い林業大学校や上松技術専門学校等へ進学することにより地域産業の担い手となることを目的としている。</p>			
	現状と課題	<p><b>1 現状</b> 木曽青峰高校の森林環境科は、森林資源の活用や環境保全についての専門的な知識や技術の習得ができる。またインテリア科は、森林資源を活用し環境づくりの中での諸課題を解決するためのデザインやものづくりについての専門的な知識や技術の習得ができる県内唯一の学科であるが、ここ数年志願者数が減少しており定員割が続いている状況である。</p> <p>木曽地域の中学3年の生徒数は令和7年度190人である。今後少子高齢化に伴い人口減少が進み10年後の令和17年には110人、15年後の令和22年には60人まで減少する見込みである。</p> <p>人口減少が進み、生徒数の確保や地域の産業に必要な人材確保が急務となっている。</p> <p><b>2 課題</b> 本校では令和6年度より全国募集準備委員会を発足させ、木曽の森林産業をはじめとする産業の人材の育成のためにも、長野県内だけでなく全国から生徒を募集する方向性を探るための研究を始め、令和6年度より県内外の視察や教育課程の再検討を行ってきた。</p> <p>このほど専門科の新教育課程が完成し、令和7年度から本校の「特色ある教育」を8年度の全国募集に向けて中学生等にPRしていく。</p> <p>また、令和7年度より、一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォームが実施している「地域みらい留学」に参画している。「地域みらい留学」は、都道府県の枠を超えて地域の学校に入学する中学生及び高校生と、受け入れる地方の高等学校を支援し、地域に多様性のある教育環境を醸成することを目的としている。</p> <p>本校は、令和7年度より「地域みらい留学」に参画し、オンラインによる学校説明会(5回)、合同学校説明会(2回)を予定している。</p> <p>そのほか中学3年生を対象とした体験入学会(7月28日実施済)、公式LINEを使った進路相談を随時実施している。</p>			
	要 内 容 (変更後の内容)	<p><b>1 地域みらい留学合同学校説明会への出席</b> 一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォームが行う地域みらい留学合同学校説明会への出席し、本校の入学を希望して会場を訪れる中学生等にPRを行う。</p> <p>(1)行事名 地域みらい留学合同学校説明会 (2)日時 令和7年8月23日(土)から令和7年8月24日(日) (3)場所 東京流通センター(東京都大田区平和島6-1-6) (4)出席者 教員2名、生徒2名</p> <p><b>2 PR物品の購入</b> (1)のぼり旗 合同学校説明会の本校ブース周辺に設置するほか、オンラインイベント、体験入学会にも利用する。 ※そのほかPR物品としては、インテリア科生徒が制作したテーブルや椅子を会場で使用する。 また会場配布する印刷物等は、教育委員会の予算から支出した。</p> <p><b>3 特色ある教育をPRするポスターの作成</b> (1)フォトペーパー(ロール) (2)フレーム(A1版) 本校の「特色ある教育」を1枚のポスターにして全国募集や県内在住者にPRすることにより受験者数増加を目指す。 全国募集の各イベントや学校見学等でポスターを使って説明するなどPRしていく。</p>			
事業期間	令和7年7月		令和8年3月		
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	地域みらい留学合同学校説明会	東京大田区東京流通センターまでの旅費(教員2名、生徒2名)	192,820	職員旅費等 当初:193,640円 実績:192,820円(△820円)	
	校名、学科名PR用のぼり旗	のぼり旗10枚 ポール支柱4本 注水台4個 ポールスタンド5台 伸縮ポール1本	61,080	消耗品等 当初:62,196円 実績:61,080円(△1,116円)	
	特色ある教育のPR額緑A1版フォトペーパー(ロール)	全国募集や県内在住の受験者数を増やすため特色ある教育をPRするポスターを作成	55,710	消耗品等 55,710円	
合計			309,610		
達成指標状況及び	成果指標		目標値	成果	達成状況
	学校合同説明会来場者数(2回合計)		50人以上	1回目22組、2回目38組 計60組来場	●達成
	公式LINEでの進路相談人数		40人以上	延べ53人	○一部達成
	県外からの受験者数		5人以上	5人	○未達成
事業実績	<p><b>【事業実績】</b> 1 学校合同説明会(東京都流通センターで2回開催) 1回目:6月21~22日、22組来場、2回目:8月23~24日38組来場、夏休み期間中の2回目の来場者が多かった。中学2年生の親子での来場が多く、令和9年度入学を考えて説明を聞きに来ている方が多かった。のぼり旗は、会場で展示した。</p> <p>2 公式LINEでの進路相談(延べ53人が参加) 森林環境科を目指す生徒は、自然環境等について、インテリア科を目指す生徒はカリキュラムの内容に関する相談が多かった。また親御さんからは住環境に関する相談が多く寄せられた。県外からの受験者は公式LINEで進路相談を受けて、本校の受験を決めた。</p> <p>3 その他PR 移動執務週間フォレストバレー意見交換会、蒼陵祭、学校説明会、合同発表会、専門科展、地域みらい留学主催のWEB説明会においては、のぼり旗や本校の特色ある教育内容をポスターにして掲示し県内外の受験予定者等にアピールした。</p> <p><b>【成果】</b> 上記の事業をおとして、全国募集に応じた受験者の志望動機を聞き取ったところ、下記のような傾向が見られた。</p> <p>①森林環境科 ・里山の荒廃や地球温暖化等の環境問題、生物植物等の多様な自然環境に興味や問題意識を持っている。</p> <p>②インテリア科 ・ものづくりに興味を持ち、実践的なデザイン制作を通して将来につながる技術と表現力を身に付けることを希望している。</p> <p>③両課共通 ・木曽の自然環境や教育カリキュラムに興味を持っている方が多い。</p>				
	今後の方向性	<p>今回聞き取った志望動機をもとに、学科で学ぶ専門知識がどのように環境問題の解決や将来につながるデザインになるのか等、受験者のニーズに合わせた説明会の場を設けて、本校に入学を希望する受験生への情報提供に努めてまいりたい。15歳で親元を離れて木曽で教育を受けることは、大変勇気のいることであり、親御さんの理解が必要となるため、安心・安全な教育環境の整備にも努めるとともに、生徒の夢の実現を教職員一丸となってサポートしてまいりたい。</p>			